

いちようの葉

小川未明

青空文庫

「幸ちゃん、清ちゃんは、二つちがいでしたが、毎日仲よく学校へゆきました。いつも幸ちゃんが迎えにきたのです。」

「もう、幸ちゃんが、迎えにくる時分だから。」と、清ちゃんは、早くご飯を食べて、机の上の本や、筆入れをランドセルに入れました。すると、

「清ちゃん。」と、いつて、はたして、幸ちゃんが、迎えにきました。

「いまずぐ、待っていてね。」と、いうより早く、清ちゃんは、家から駆け出して、二人は、話しながら、学校へいったのであります。

ある日、いつも幸ちゃんがくる時分なのに、どうしたのか、こなかつたから、清ちゃんはこちらから、幸ちゃんの家へ迎えにゆきました。すると、幸ちゃんは、かぜをひいて、昨夜から熱が高くて、床についているのでした。

「じきなおりますから迎えにきてくださいね。」と、幸ちゃんのお母さんはおっしゃいました。

清ちゃんは、独りさびしく学校へいったのです。しかし幸ちゃんのことを気にかかつて、いつものように、なにをして遊んでも、愉快になりませんでした。

いつもなら、帰りにも待ち合わせて幸ちやんといつしよにお家へ帰ったのですが、その日ばかりはさびしく一人で帰らなければなりませんでした。

お寺の前を通ると、大きないちようの木の葉が黄色に色づいて、風の吹くたびにひらひらと舞って落ちてきました。清ちやんは、一人で門から入って、落ちている美しい葉を拾いますと、それにまじって、いちようの実も落ちていました。

「あ、これも拾っていつて、幸ちやんにあげよう。」と、いつて、清ちやんは、拾いました。そして、お家へ帰ると、さつそく、幸ちやんのところへ持ってゆきました。これを見て、幸ちやんは、どんなに喜んでありましよう。

「僕、お薬を飲んだら、熱が下がったのだよ。明日から、また、学校へいつしよにゆうね。」と、いいました。

「そうしたら、また、帰りにお寺の中へ入ってみようよ。」と、清ちやんは、いつて、二人で、いちようの実や、それから、裏の林の中に入ってくりの実を拾ったらどんなにおもしろいかなうと考えたのです。

「風が吹かないから、明日は、落ちていないかもしれぬ。」と、幸ちやんがいました。「風が吹かなくても、落ちてゐるよ。」と、清ちやんは、このごろ、木の実がよく熟して、

ひとりでに落ちるのを知っていました。それに、あの村はずれのお寺は、荒れはててだれも境内を掃くものがなければ、一日じゆう、御堂の戸が閉まっていることを思ったのでありました。

「じゃ、帰りに、いっしょにいつて探そうね。」と、二人は、お約束をしました。

こんなように、小学校時分の二人は、楽しかったのです。そのうち幸ちゃんは、学校を卒業しました。それから、まもなく、奉公に都会へ出てしまいました。学校へゆくにも、帰るにも、一人となった清ちゃんは、さびしかったのです。そのうち夏も過ぎて、また木の葉の色づく秋がきました。

「いつか、幸ちゃんか、なぜをひいて休んだとき、僕、学校の帰りに、いちようの葉を拾っていったことがあったがなあ。」と、清ちゃんは、思い出したのであります。あのときは、たった一日、一人でいつてさえ悲しかったのにいまは、いつまたあうことができるかわからないのだと思いました。ある日清ちゃんは、学校からの帰りにお寺の前を通ると、いちようの葉がたくさん落ちていました。そして、寺は、昔そのままにひっそりとして人の姿も見えなければ、ただ、林の中で、小鳥が鳴いていました。清ちゃんは、門を入れて大きないちようの木の下で、落ち葉を拾って、お家へ帰ると、それを入れて、幸ちゃ

んのところへ、手紙を出しました。

「幸ちゃん、ご健康で働いていますか、村のお寺のいちようの木の葉が、はや、こんなに色づきました。いつか、君といっしょに拾って、楽しかった日のことを僕は、ここを通るたびに思い出しています。」と、その手紙には、書いてありました。すると、幸ちゃんからもじきに返事がきました。それは美しい、町の絵はがきに、

「清ちゃんも、お達者でなによりです。私は、変わりなく働いていますから、ご安心してください。このごろ、毎晩、田舎の夢を見ます。昨夜も清ちゃんと遊んだ夢を見ました。」と、書いてありました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 10」講談社

1977（昭和52）年8月10日第1刷

1983（昭和58）年1月19日第6刷

初出：「台湾日日新報」

1935（昭和10）年10月10日

※表題は底本では、「いちよしの葉《は》」となっています。

※初出時の表題は「銀杏の葉」です。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：酒井裕二

2015年5月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

いちよしの葉

小川未明

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>